

学校法人昭徳学園
令和 6 年度 事業報告



学校法人 昭徳学園
九州動物学院

令和 7 年 3 月

I 概要

本学院は平成 16 年に創立されました。当初、無認可校からはじまった当学院は、創立 13 年目、平成 28 年 4 月から学校法人として認可された専修学校として新しい歩みをはじめました。

本学院の教育は生命の尊厳を第一とし、動物の保健・医療・福祉に関する専門知識および技術の修得を目標に掲げています。

教育水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的な責任を果たし、与えられた使命を達成するために、自らの責任において教育研究活動や管理運営等について自己点検評価、学校関係者評価等をとおして高位平準化に努めてきたところです。

このような中、令和元年 6 月に「愛玩動物看護師法」が成立し、動物看護学科は令和 4 年より同法の施行に伴い、本学院愛玩動物看護師の養成を目的に 3 年制とし、令和 4 年 4 月 1 日に本学院は国家試験受験可能となる養成所と指定されました。

今年度は 4 月に学院創立 20 周年を迎え、4 月には田嶋徹熊本県副知事をお迎えし、記念式典を挙げる。事業としては 5 年ぶりとなる海外研修を実施しました。また学院体制の充実等様々な課題について取り組みましたのでご報告いたします。

II 基本的運営方針

〈 基 本 理 念 〉

生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆を築き、
動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養の分野に貢献できる人材の育成

〈 教 育 目 標 〉

- 1 命の尊厳を基盤に、動物の権利を尊重し、かつ豊かな人間性を養う。
- 2 動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養にかかわる専門職としての知識、技術および態度を養う。
- 3 広い視野に立ち、生涯を通じ課題探求と問題解決力を養う。

〈 院 訓 〉

敬 天 尊 命

III 令和 6 年度の重点目標及び計画と進捗状況及び実績

1 教育の質の向上

目標 愛玩動物看護師養成所として初の 3 年次に 46 名が進級、国試全員合格

実績 3 年生国試対策のため 8:30 に登校。模擬試験実施。統合演習等対策
エデュワードプレス国試模試結果 3 年生合格率 50% (11 月) → 83% (1 月)
2 月 16 日 国家試験 46 名受験

目標 引き続き高等教育の修学支援制度対象校としての、教育機会の向上を図る。併せて奨学金制度の積極的な利用推進、文科省職業実践専門課程認定校を対象とした厚労省「教育訓練給付制度」も認定され活用した。

実績 令和 6 年度修学支援更新決定

令和 6 年度修学支援実績 1 年生 14 名、2 年生 10 名、3 年生 8 名の支援実施

令和 6 年度教育訓練給付制度利用実績 1 名

奨学金制度利用実績 1 年 32 名、2 年 27 名、3 年 21 名が利用

2 学校運営の点検・評価・再構築

目標 自己点検評価、学校関係者評価制度の結果に基づき、学校運営の向上を図る。

実績 令和5年自己点検評価実施

令和6年9月20日学校関係者評価実施 公表別紙

3 九州動物学院20周年史の編纂

令和6年(2024年)4月7日学院は創立20周年を迎えた。令和6年4月12日に「記念フォーラム」の開催。「20年史」発刊予定。(現在最終校正中)

4 基本理念、教育目標の実効性の担保

目標 「卒業認定・学位授与」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラムポリシー)及び「入学受入れの方針」(アドミッションポリシー)を策定し、より具体的な教育実践につなげる。

実績 令和3年4月1日3つのポリシーを定め、ホームページに掲載し学生募集等で案内
活動 VIに記載

5 学生募集の強化

目標 安定した学生数の確保が可能となるよう組織と広報手法の改善を行い、強化を図る。

実績 令和5年度は高等学校との連携強化を図り、入試制度などについて高校側と協議を重ねた。高校担当教師を招き九動進学説明会を実施。15高校から15名の参加者があり、昨年度を高等学校長推薦枠、自己推薦枠、一般入試と多様な出願希望に沿った入試を行った。

6 国際交流の推進

目標 海外の動物に関わる大学、専門学校に関して学生職員間の相互交流や共同研究をとおして国際交流ならびに獣医療及び動物福祉の発展に寄与する。

実績 令和7年10月2日、MOUを締結したインドネシア国立ウダヤナ大学(バリ州)に徳田学院長がウダヤナ大学学長を表敬訪問、今後の狂犬病対策と学生交流について協議。

11月15日海外研修でバリ島を訪問した2年学生59名、職員3がウダヤナ大学獣医学部学生教職員等と交流活動を行った。

7 修学支援

目標 引き続き高等教育の修学支援制度対象校としての、教育機会の向上を図る。併せて奨学金制度の積極的な利用推進

IV 学院運営体制

(1) 学校法人昭徳学園役員

理事	氏 名	評議員	氏 名
理事長	徳田 昭彦	評議員	徳田 昭彦
理事	牛島 浩	評議員	須崎 晋一
理事	藤好 建史	評議員	本田 公三
理事	須崎 晋一	評議員	芝田 猛
理事	本田 公三	評議員	森下 久男
監事	本山 桂子	評議員	大川 恵子
監事	中原 孝	評議員	白石 史絵
		評議員	吉川 文香
		評議員	前田 しのぶ

(2)専任教員・職員・講師

1. 専任教員

氏 名	職 務	担 当 科 目
徳田 昭彦	学院長	講話、動物外科看護学実習Ⅰ
本田 公三	副学院長	生命倫理・動物福祉
高木 弘和	教頭（2学年副担任）	海外研修、掃除学、販売学、プレゼンテーションスキル
大杉剛生	主幹（学術担当）	公衆衛生学、比較動物学、動物看護関連法規、動物愛護・適正飼養関連法規
津田 圭子	主幹（教務担当）	動物栄養学、動物臨床看護学各論、愛玩動物学
工藤 正則	主幹（学生担当、1学年副担任）	
森元 和昭	主幹（危機管理担当）	
西島 信彦	学生課長（3学年担任）	ライセンス対策
井上 竜一	教務課長（1学年担任）	愛玩動物飼養Ⅰ、人と動物の関係学、動物生活環境学、飼育実習
林 典子	事務長	
紫垣 知江	学生課主任	
橋本 沙耶	教務課主事（3学年副担任）	トリミング実習、飼育実習
高橋 理美	事務局主事	
後藤 翔太	教務課主事（2学年担任）	
乗本 莉奈	教務課係員	飼育実習

2. 講 師

氏 名	担 当 科 目
池上 美紀	動物内科看護学、動物臨床看護学総論、看護学概論、グリーフケア概論
井手 浩信	動物理学療法
古田 祥史	動物感染症学（総論・微生物学）、動物病理学
大川 恵子	動物看護総合実習
大塚 敦子	動物行動学Ⅰ、愛玩動物学
小山 房子	パソコン学
北島 眞実子	動物形態機能学、動物皮膚病学、動物形態機能学実習
合志 潤子	動物看護総合実習、動物臨床看護学実習
白石 史絵	動物看護総合実習、動物臨床看護学実習、医療コミュニケーション
島本真由美	保護猫譲渡活動、ミルクボランティア
田嶋 義高	分子遺伝学入門、看護職支援
長倉 絵里花	トリミング実習
中嶋 友美	訓練学Ⅰ
黒田 将仁	動物臨床検査学実習Ⅱ、動物外科看護実習Ⅱ
仁木 隆博	動物薬理学Ⅰ・Ⅱ、動物感染症学（病原体・衛生管理）
西川 文	動物歯科学
林 小百合	ペット関連産業概論
兵藤 陽子	英会話
福田 由吏	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ、コミュニケーショントレーニング
前田 しのぶ	ペットアロママッサージⅠ・Ⅱ
増子 元美	動物適正指導論、高齢動物看護学、幼齢動物
片岡 玖美	訓練学Ⅱ
山中 彩紗子	動物行動学Ⅱ
吉川 文香	動物内科看護学実習

V 事業別報告

1 教務関係

- ① 学生数 3/14 現在 1 年生 54 名 動物看護学科 37 名 (退学 1)
動物管理学科 17 名 (退学 4 名)
2 年生 59 名 動物看護学科 45 名 (復学 1)
動物管理学科 14 名
3 年生 46 名 動物看護学科 46 名
- ② 試験 1、2 学年前後期試験を実施
- ③ 資格試験
 - ・第 3 回愛玩動物看護師国家試験 46 名受験 41 名合格 (合格率 89.1%)
 - ・第 2 回国家試験既卒者 28 名受験 14 名合格 (50%)
 - ・PSG トリマーB 級 7 名受験 4 名合格未発表 (57.1%)
 - ・PSG トリマーC 級 33 名受験 24 名合格未発表 (72.7%)
 - ・愛玩動物飼養管理士 1 級 12 名受験 10 名合格 (83.3%)
 - ・愛玩動物飼養管理士 2 級 59 名受験 50 名合格 (84.7%)
 - ・その他のライセンス%
いぬ検定初級、保護譲渡指導員、動物救急救命、犬の心理栄養学、コミュニケーション検定初級、Excel・Word 検定 3 級等
- ④ インターンシップ
 - ・50 か所以上のインターンシップ先 (動物病院 トリミングサロン ペットショップ その他) で実習を実施。2 年生 90%以上がインターンシップ先で就職内定
- ⑤ 飼育動物
 - ・犬 22 頭、猫 10 頭、保護猫 17 頭、エキゾチック 52 頭 (ハト 4、カラス 11、ニワトリ 4、イグアナ 1、ウズラ 5、カメ 21、クジャク 1、ニホンザル 1、マウス 0、ウサギ 1、ワニガメ 2) 計 101 頭
- ⑥ 保護猫受入れ譲渡活動 (R6.4.1~R7.3.14)
 - ・受入頭数 10 頭、譲渡頭数 13 頭 (内 8 頭ミルボラ猫)、第 10、11 回譲渡会開催、市愛護センターミルボラ 3 頭受入
- ⑦
 - ・動物介在活動 10/10 パウラスホーム、11/7 わらべ苑、12/29 スリースマイル秋桜
 - ・動物介在教育 AAE 12/21 菊水学園

2 学生募集

- ⑧ オープンキャンパス (2 月末時点) 11 回実施
参加者生徒延べ 323 名、実数 249 名 (昨年 302 名、204 名) 保護者 186 名 (昨年 178 名 (生徒 24.8%増))
 - ・県外からの参加者が増え、入学者増につながっている。
- ⑨ プレスクール 4 回実施、対象 2025 年度入学者 (22 期生)
- ⑩ 九動進路説明会令和 6 年 6 月 18 日 14:00~16:00
- ⑪ 2 出願者と入学者選考
 - ・湧心館、専大熊本、大津、熊農、菊農、御船、翔陽、くまもと中央、熊本中央、文徳、天草拓心マリン、湧心館、大津、菊池女子、国府、勇志国際、八代農業泉分校

- 15校15名参加)欠席校2校2名(昨年15校15名)
・内容:概要、3年制動物看護学科、就職状況について

- ⑫ 高校学校ガイダンスに出席(2月末)
9ヶ所(参加数115名、3月予定1カ所)
⑬ 高校訪問 九州・種子島・奄美大島・沖縄

- ⑭ 資料請求者(3月4日現在) 2342件(昨年同日比23%増1911件)

3 出願者と入学者選考

	合計	熊本	福岡	大分	佐賀	長崎	鹿児島	沖縄	広島
訪問高校	225	90	39	13	13	5	33(種子島2、奄美4)	25	0
総会数	396	239	42	19	14	5	44(〃)	25	0

3 就職状況

2年生動物管理学科(10名)就職内定者8名(2025.3.14現在)
ペットショップ1、九州盲導犬協会1、熊本県動物愛護センター3、トリミングサロン3

4 学院行事

- ① 海外研修 11月12～17日シンガポール、パリ2年生59名引率高木、後藤、吉川
② 校外研修 6月7日(金)アニマルフレンズ、熊本市動植物園
③ 校外合宿研修1年生58名全員参加

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高等学校長推薦	61 (53)	52	50	50	47
自己推薦	16 (6)	11	11	11	13
一般	5 (4)	7	4	4	1
出願合計	82名(18不合格、1辞退)	70名(8不合格、3辞退)	66名(5不合格、2辞退)	65名(4不合格、2辞退)	61名(4不合格、2辞退)
入学予定者	63名	59名	59名	59名	55名

- ・日程 令和6年10月25日(金)～28日(月)3泊4日
・かじかの森、南小国町農家にファームステイ
・引率 高木、森元、津田、工藤、西島、井上、紫垣、後藤

- ④ レクリエーション
5月17日実施、バレーボール(県立体育館)
⑤ 10月18日実施 ドッジボール(県立体育館)
⑥ 竜之介・九動合同動物慰霊祭 12月8日(日)9:00学院4F
⑦ 九動祭 12月8日(日)10:00～16:00 来場者363名 実行委員長2年藤本七海

5 職務分担

徳田竜之介 学院長
本田公三 副学院長
高木弘和 教頭 2学年副担任
大杉剛生 主幹
津田圭子 主幹

工藤正則	主幹 1 学年副担任
森元和昭	主幹
西島信彦	学生課長 3 学年担任
林典子	事務長
井上竜一	教務課長 1 学年担任
紫垣知江	学生課主任
橋本沙耶	教務課主事 3 学年副担任
後藤翔太	教務課 2 学年担任
高橋理美	事務局主事
乗本莉奈	教務課

VI 九州動物学院 3つのポリシー

本学院の教育理念、教育目標を実現するために、次の3つのポリシーを定める。

I アドミッションポリシー (Admission Policy 入学者受け入れ方針)

本学の基本理念、教育目標、ディプロマ及びカリキュラムポリシーの目的達成のために以下の入学者を求める。

- 1 動物を愛し、その生命を尊重できる者
- 2 動物の保健、医療、福祉、愛語および適正飼養分野で活躍するために必要な知識と技術を主体的に学ぶ意欲のある者
- 3 動物医療者あるいは動物管理者としての使命感と倫理観をそなえ、社会に貢献したい意志のある者
- 4 チーム医療を担える協調性をもち、動物と飼い主に対しおもいやりをもち、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力をもつ者
- 5 本学のカリキュラムを理解し積極的に挑戦し、困難に立ちむかい、問題を解決する自己能力の向上に努める意欲のある者

II カリキュラムポリシー (Curriculum Policy 教育編成・実施の方針)

学院の基本理念である生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆をきづき、動物の保健、衛生、福祉の分野に貢献することを目標に基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学、実習分野の科目を体系的に授業展開し、ディプロマポリシーの達成をはかる。

- 1 動物看護学と管理学を基礎的体系的に理解し、動物看護と管理の学びを深めてゆく。
- 2 動物看護と管理の実践で基本的な能力を身につけ、専門職としての基盤である対動物、対人支援能力を育む。
- 3 実習を通じ幅広い看護観と管理観を養い、段階的反復的な実習で実践力を養成する。
- 4 動物看護と管理の役割を理解し、連携、協働する教育を課外活動と科目に連動させて編成している。

III ディプロマ・ポリシー (Diploma Policy 卒業認定および専門士の授与に関する方針)

本学院は基本理念、教育目標に定める人材を養成するため所定の期間在学し、定められた専門分野に関する知識、技能、教養力を身につけ、所定の単位を習得する。学院の定める試験に合格し、動物の保健、医療、福祉、愛語および適正飼養の向上に寄与することができる学生に卒業を認定し専門士の称号を授与する。